

令和元年 5 月 27 日

処方せん応需薬局 各位

独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター
病院長 田中 康博

院外処方せん様式の 1 回量処方への変更、検査値記載について

平素より、当院発行の院外処方せんを応需いただきありがとうございます。

ご承知のように、平成 22 年 1 月に厚生労働省から「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会」の報告が発出されています。

今回、当院の電子カルテを更新するのに合わせて、令和元年 6 月 1 日より院外処方せんを報告書に準じた様式に変更します。

また、同時に医療機関と保険調剤薬局との連携強化のため院外処方せんに 20 項目の検査値を表示することを開始いたします。

主な変更点は、内服薬の用量を「1 日量」から「1 回量」に変更すること（外用、頓服の用量は従来と変更ありません）と、処方監査上、必要と考えられる 20 項目の検査値（WBC、Neut、HGB、PLT、AST、ALT、CRE、Ccr、eGFR、T-Bil、Na、K、IP、Ca、Mg、CRP、HbA1c、PT-INR、ALB、CK）を表記することです。

記載例を別ファイル「院外処方箋サンプル」に示しますのでご確認ください。

ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。